

訪問介護訪問看護・地域医療連携
クラウド型情報連携システム&タブレットアプリ

けあふる君[®]



「けあふる君®」とは

「けあふる君®」は地域の医療健康サービスをご利用になるご利用者様に関わる医療従事者間において日々の情報共有を可能とするシステムです。モバイルプリンターと連動するタブレットアプリに業務実施内容を都度記録として残すことで訪問介護員・看護師とサービス提供責任者の業務効率化を可能にした訪問介護アプリが基盤となっております。



開発背景

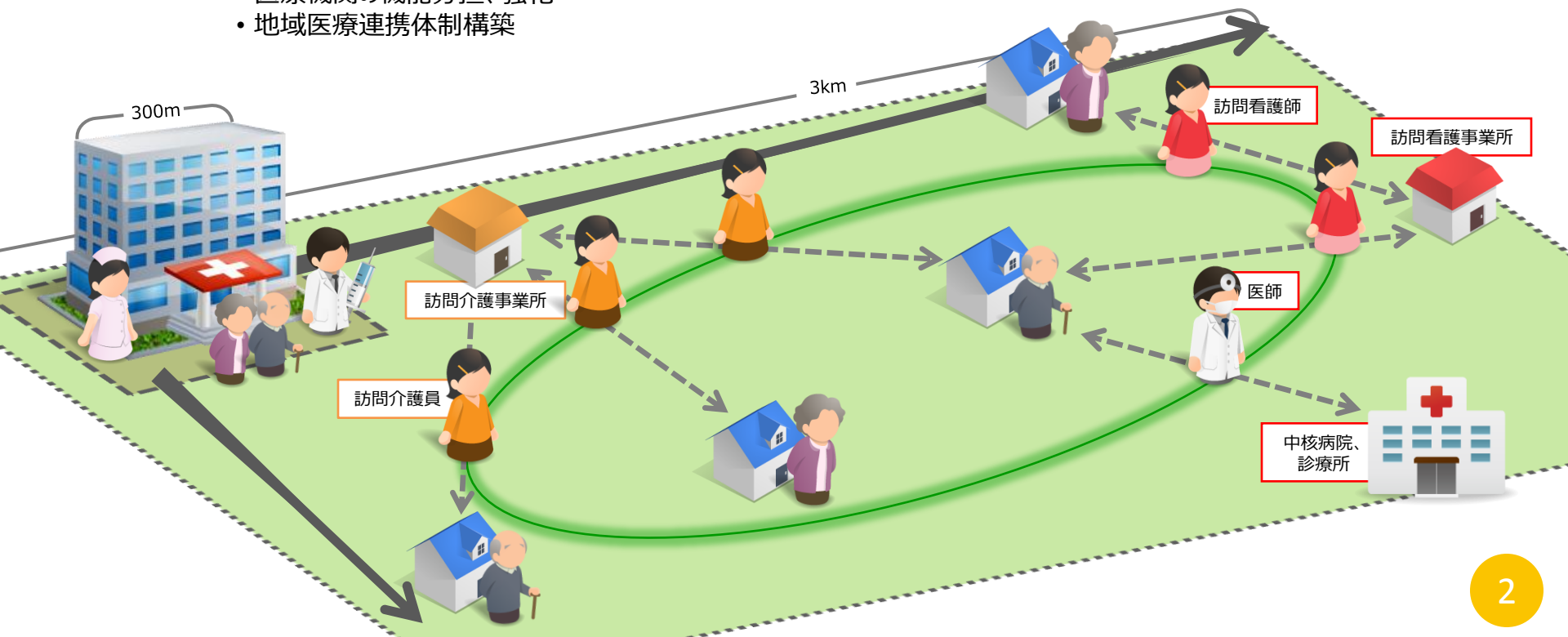
「けあふる君®」は在宅医療連携、及びその先にある地域包括ケアシステム構築を視野に入れて開発されました。

- ・高齢者数の急増、医療費の高騰
- ・急増しない医療・社会福祉従事者
- ・病床数の制限

課題

- ・移動時間も捻出する業務効率化
- ・広範囲点在する多職種の情報共有
 - ・顔の見える関係づくりなど…

- ・在宅への移行（厚生労働省の指針）
- ・医療機関の機能分担、強化
- ・地域医療連携体制構築



「けあふる君®」の生い立ち

「けあふる君®」は国策プロジェクトの実証事業を経て平成24年4月に商品化、リリース。平成26年度にはブラジルの医療保健法律及びポルトガル語に対応した「けあふる君®」が現地医療福祉現場に導入されます。

アベノミクス三本目の矢「民間投資を喚起する成長戦略」にあたり、医療・介護分野システムの輸出成功事例となっていきます。

※参考：日本再興戦略（P.62）、世界最先端IT国家創造宣言（P.11）、健康・医療戦略（P.35）など

H23年度

経済産業省：医療・介護等関連分野における規制改革・産業創出実証事業
「IT活用等による介護事業者の経営効率化、安定化に資する調査
24時間訪問介護の充実と介護負担の軽減ならびに経営の安定化調査」

H24年度

厚生労働省×経済産業省
在宅医療連携拠点事業×地域ヘルスケア構築推進事業
（フィールド：新潟県長岡市 こぶし訪問看護ステーション）

H25年度

実証事業で構築したシステムを商品化し、当社より「けあふる君®」として発売
福祉系2大ITベンダーや通信キャリア、グローバルハードメーカーと連携
国内のみならず、同時並行で海外輸出も推進

H26年度

各県 地域医療再生基金 在宅医療連携拠点事業、
10以上の自治体がけあふる君®を採用。

ブラジル、米国の最大手医療機関10ヶ所以上＋自治体へ導入調整中。

訪問介護の
業務効率化

訪問看護の
業務効率化

在宅医療
連携

低
価格化

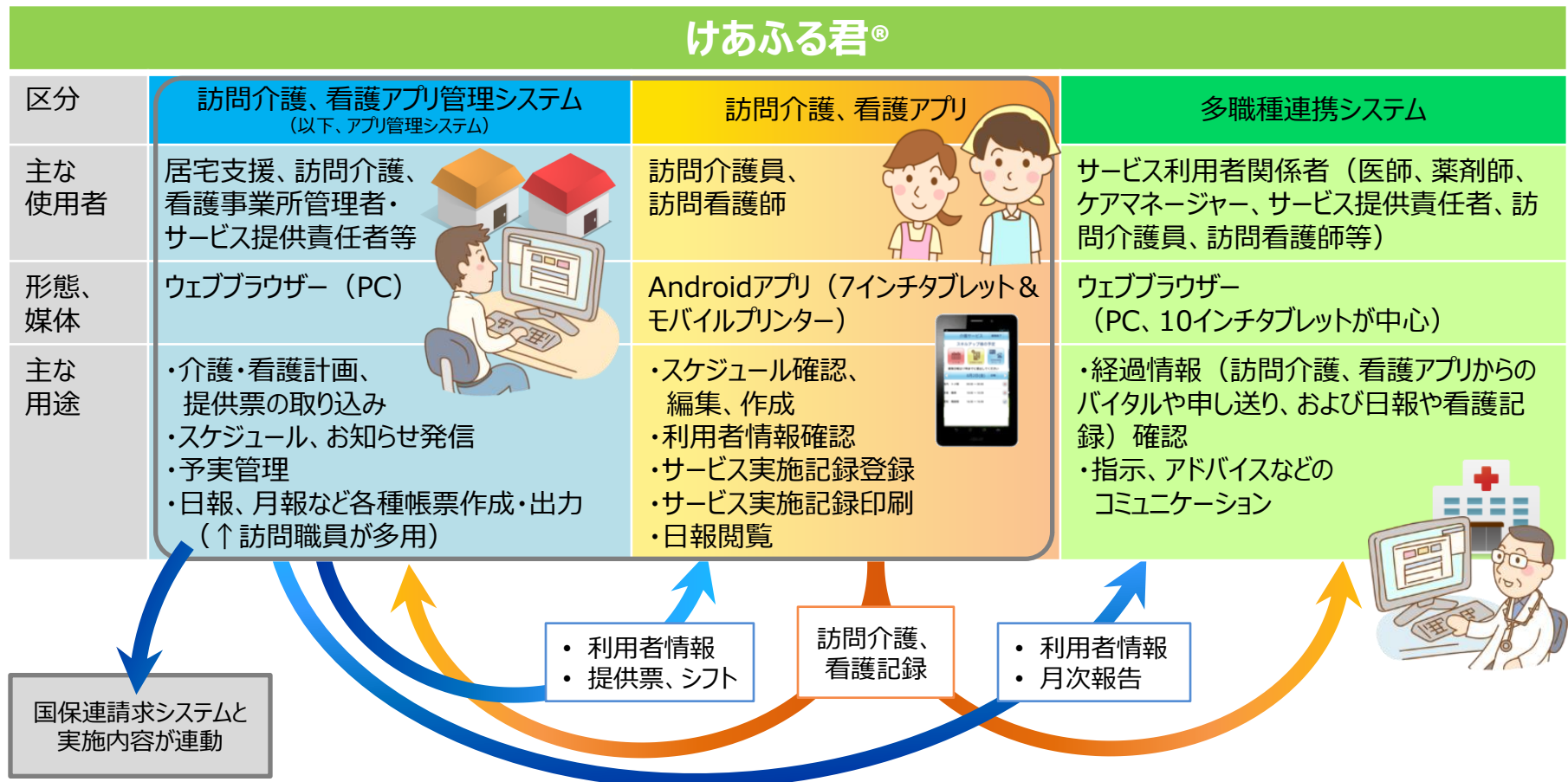
請求
連動

地域連携

海外
輸出

システム概要

「けあふる君®」はクラウドサーバーを介して連携する三つのシステムで構成されており、リアルタイムで情報の追加更新・共有を行います。訪問介護・看護事業所や、病院などではPCを、訪問職員のみなさまにはタブレットでアプリをご利用頂いております。



訪問職員が日々アプリに記録する内容は、アプリ管理システム及び他の職員がもつタブレットのアプリへ瞬時に共有されます。同時に、アプリに記録された内容を選別して多職種連携システムにも反映します。

業務フローと「けあふる君®」利用シーン

「けあふる君®」を日頃の業務の中で利用するフローイメージです。訪問先、在宅の現場の声に基づいてつくられています。当社ではタブレット端末＋通信＋記録紙を訪問先で出力するモバイルプリンターもワンストップでご提供します。お手持ちのPCにアプリ管理システム、多職種連携システムを簡単にインストールし、お客様にタブレットが届いてすぐ「けあふる君®」をご利用頂けます。

1

介護・看護計画、
提供表取り込み、
スケジュール作成

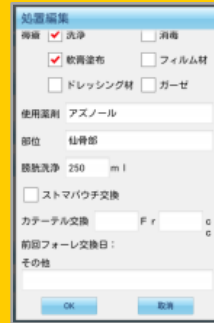


2

予定、お知らせ、
利用者情報確認



実施記録の
入力、印刷



申し送り、
日報の確認



3

実施記録の確認、
日報、月報の作成



4

国保連請求システムと
実施内容連動



常時

職種や医療機関を超えて利用者の情報が確認可能。
適宜、医師から指示やアドバイスも発信される。



5

活用効果、提供価値

商品化して以来、「けあふる君®」は全国のお客様に導入していただいております。その結果として表れ始めたご利用効果と、お客様から頂いた喜ばしいお声をご紹介します。

1. 職種、距離を超えリアルタイム情報共有

- ✓ タブレット、PCからご利用者様報をいつでも即時に参照可能。
- ✓ 診察による注意点や観察からの懸念点を
ご利用者様関係職員で共有可能。
- ✓ 災害時の基本情報担保としても効果を発揮。

2. モチベーションアップ、サービス品質の向上

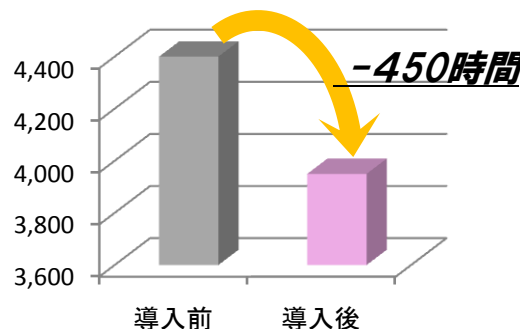
- ✓ 医師を含め、多職種間で連携する事から安心感と責任感が生まれ、
モチベーションアップに。
- ✓ 複数者間、多職種間においても一貫性あるサービスの提供が可能に。
- ✓ 本部と訪問中の職員間も、「けあふる君®」で連携し、
電話連絡が減り業務に集中。

3. 圧倒的な業務効率化

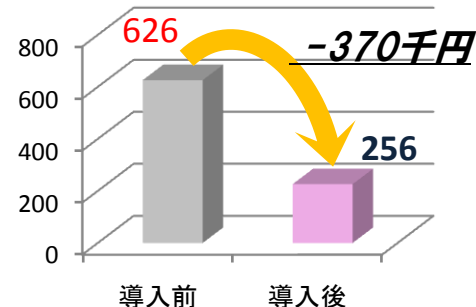
- ✓ 「けあふる君®」で、1職員様あたりの事務作業の
1日約50分、1年で約7万円
短縮・削減が実現。
データ入力の時間も手書きとほぼ変わりません。
(図は25人当たりの数値、時給800円計算)
追加訪問が可能になり収益改善も見込めるように。



一ヶ月の残業時間(時間)



一ヶ月の残業コストと
タブレット導入時のコスト比較(千円)



(タブレット導入時コスト= けあふる君®月額利用料8000円+一人当たり月2.8時間残業)

活用効果、提供価値

現場で日々利用者様と接している訪問介護士・看護師の方や、在宅医療を行う医師の方々からもご評価いただいております。



介護者（在宅ケアを受けるご家族）の声

転倒による歩行障害をもった家族が在宅医療に移行した際、正直なところ、介護が更に大変になるので戻ってきてほしくないとさえ思いました。しかしながら、事業所のみなさまや、主治医の先生が共に一生懸命、お力を貸してくださるので自分も頑張っています。

実際に大きな負担のかかる介護者の方からも、情報共有の効果のご評価に加えて前向きなご意見を頂戴いたしました。多職種連携が図られることは、チームとしての被介助者への援助が確立し、介護者の負担と不安の減少に結びつきます。

◆ 経緯、市のニーズ

- ## ◆ 提案内容

- ## ◆ 導入三ヵ月後のユーザーの声（訪問看護師）

在宅医療における現場目線で
つくられたシステムを見つけた！

発注

市の医療保健局

導入の決め手
「モバイル端末×クラウド」
大規模な投資をかけることなく、
真の在宅医療連携が実現
できると見込んだ。

導入
・多職種連携システム

導入

・多職種連携システム

医療センター

訪問看護
市民病院
多サービス

連合医師会

医師会 A
医師会 B
医師会 C
医師会 D

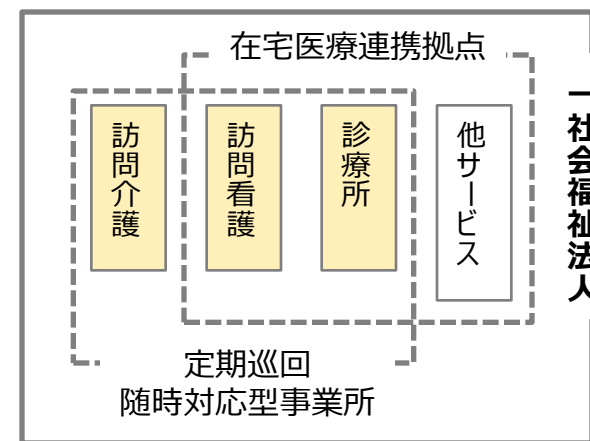
随时導入予定

導入事例：在宅医療連携拠点の法人

「けあふる君®」には医療・社会福祉法人様、企業様、医師会様、自治体様など様々なお客様がいらっしゃいます。「けあふる君®」の活用方法の参考として二つの事例をご紹介します。

◆ 経緯、拠点事業責任者（医師）のニーズ

- 在宅医療連携拠点に採択され、研修や地域住民への啓発など、幅広い事業に取り組みたい。しかし、職員が日々の業務に追われている上、訪問の出入りが多く、一同がなかなか揃わない。
- 定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所にも指定されたが、外来診療も多忙で、24時間の往診は容易ではない。また、職種間の連携が口頭連絡、電話、ファックス等で行われており、時間的ロスを削減したい。
- 法人の方針としてIT活用が決定し、システムを導入したが、何からIT化し、運用するかの指示が出せず、一年経過してしまった。



◆ 提案内容

- 意識改革
医師から複数回、在宅医療連携拠点事業の説明を訪問介護・看護 職員も含めて行い、まず拠点全体の意識統一を図る。
- 運用体制構築
IT化における意思決定者と実務変革を牽引する職員を決める。
まずは、利用者に最も近く、多くの情報を持つ訪問職員のITへの慣れ、業務効率化に取り組み、多職種連携へ。
- システム活用
日々の業務の中で、訪問職員の要望が強い点から段階的にIT化していく内容を決定し、実際に具体的なシステムの使い方を一緒に行う。

◆ 改めてシステムを活用し始めた二ヵ月後のユーザーの声（医師、訪問介護員）

一年間全くシステム不使用だった事業所が、毎日全員使うようになり、IT化が一步步確実にすすみはじめた。（医師）
とにかく使い始めるようになって、自分たちの業務を変えていけることを実感し、主体的に運用し始めることができた。（訪問介護員）

ツールとしての活用と方針

「けあふる君[®]」は「現場目線 × 業務効率化 × 情報共有」を軸に、事業所や法人の垣根を越えて、それぞれの地域全域へさらなる展開を目指していきます。



お問い合わせ

- ✓ 業務削減、効率化を推進したいが職員全員を巻き込めるか心配…
- ✓ 今以上の業務量を増やさないまま、多職種情報共有をしたい…
- ✓ 地域医療連携を推進したいが、どこから連携していけば良いのか模索している…

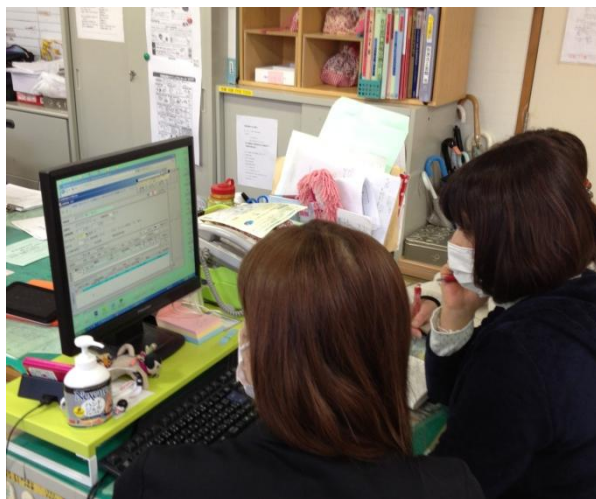
機能や価格、運用方法などについてのご不明点、ご要望などございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。
みなさまからのお問い合わせやご相談を心よりお待ちしております。

スキルアップジャパン株式会社

☎ 03-5784-8070

〒 東京都渋谷区桜丘町9-8

<http://www.skillupjapan.co.jp/solution/kaigo.asp>



タブレットアプリやPC画面の機能紹介、デモンストレーションに全国へお伺いいたします。
導入、運用開始後も使い方のご説明やご相談をお伺いに参ります。